

# 楓

ふうえん

# 園

特集

## 新しい春を迎えて

- NEWS 大学・大学院／中高部／小学部  
東洋英和幼稚園／大学付属 かえで幼稚園 ● 5
- 英和の日々 ● 10
- この人に聞く 加藤 瑛美 ● 11
- 聖書の言葉／訃報／史料室レター／学院NEWS ● 12
- 2017年度行事予定 ● 13
- 英和星空探訪／同窓会より／お知らせ ● 15



東洋英和幼稚園入園式



# 新しい春を迎えて

心を尽くして主に信頼し、自分の分別には頼らず常に主を覚えてあなたの道を歩け。  
 そうすれば 主はあなたの道筋をまっすぐにしてくださる。

箴言 三章五〜六節



2017年4月1日 大学・大学院入学式

## 入学式の式辞より

— 大学・大学院 —  
 大学学長 池田 明史

多くの新入生を迎え、二〇一七年度が始まりました。  
 今号の特集では、大学・大学院の入学式式辞とともに、今年度の体制をご紹介します。  
 学院創立一三三年目も、ご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

新入生の皆さん、御入学おめでとう  
 ございます。いま皆さんが座って

いるこの場所は、学院創設五〇周年を翌年に控えて一九三三年に落成した旧館マーガレット・クレイグ記念講堂の雰囲気をはば忠実に受け継いで一九九六年に復元された空間で、新マーガレット・クレイグ記念講堂と呼ばれています。前方両脇に掲げられている建学理念「敬神」と「奉仕」の二つの扁額は、当時内閣総理大臣を辞任したばかりの伯爵・齋藤實<sup>まこと</sup>、海軍大将の書であり、彼の夫人が初期の英和卒業生であった所縁<sup>ゆかり</sup>で五〇周年記念式典に列席しこの揮毫を快諾したという経緯があります。開設二八年目の新しい大学の皆さんを東洋英和一三三年の歴史が見ている。そのような自覚をしつかりと持っていたらいいと思います。「学ぶ」という営為の根底には、自分どの時代の如何なる空間に生きているのかという認識が欠かせないからです。現代のように先行きが見通せない時代にあつては、このことは取

り分けて重要な意味を持ちます。

皆さんの多くは、高校を卒業すれば大学に進学するのがごく普通の進路で、特別に変わったことではないと考えておられるかもしれません。皆さんが当たり前だと思っている今の状況は、一步日本を離れると必ずしもそうではありません。二〇一四年度に史上最年少でノーベル平和賞を受けたマララ・ユスフザイさんは、女性にもっと学ぶ機会を与えてほしい、そう訴えただけで命を狙われて瀕死の重傷を負わされたのです。それは、彼女の国がとんでもなく野蛮なところだったからでしょうか。八十数年前に東洋英和がまさにこの空間で創立五〇周年の式典を行ったとき、女性が大学や短大などのいわゆる高等教育を受けることは極めて稀なことでした。そもそも女性が入ることのできる大学はとても限られていました。簡単に言えば、女性には高等教育は必要ないと決めつけられていたわけです。この日本においててもついで数十年前までは、女子

高等教育に対する偏見は確実に存在していましたが、主義主張や思想信条が異なるという理由だけで簡単に暴力に訴えるという風潮も珍しくな

かったのです。このことを忘れないでいただきたい。そしてそれは同時に、いまもなお、この世界には学びたいとどんなに思っても学ぶことが許されない何億人という女性が存在しているということでもあります。マララさんの言葉にはこうあります。『I tell my story, not because it is unique, but because it is not. It is the story of many girls.』その多くの少女たちが皆さんに向けるであろうまなざしを想像してみてください。我が国の女子高等教育は、東洋英和創立の時代から一三三年かかってこまめでたどり着いたのです。その意味を意識したうえで、これからの四年間を、あるいは大学院での研究生活を大切に過ごしてください。私も教職員は、皆さんが「成りたい自分」「やりたい研究」を実現し、あるいは達成するための努力に、可能な限り寄り添い、全力で支えたいつもりです。東洋英和女学院大学および大学院は、皆さんの入学を心から歓迎いたします。



深井 智朗

カートメル先生の言葉

二月の理事会で副院長を拝命しました際に思い起こしたのは、かつてマーサ・カートメル先生が、自らに与えられた使命について、神の前に頭を垂れ、「主よ、あなたは私のすべてをご存じです。私が夢ではなく本当に御声を伺ったのなら、そして私をお用いくださるのなら、どうぞ私をお遣わしてください」とお応えになられたことでした。

昨年四月に本学に着任しましたが、これまでちょうど二〇年キリスト教大学で教える機会を与えられてきました。職名にふさわしいような者だとしても思い得ません。しかし、本学で学ぶ者、働く者たちの共通の師であるカートメル先生に倣い、神から与えられた使命に誠実でありたいと思います。そして、教職員の方々、保護者の方々、同窓生の皆様のご指導のもと、本学院で学ぶ園児、児童、生徒、学生、院生に仕える者でありたいと願っております。



楠山 眞里子

成長させてくださったのは神です

この度、高等部長という重責を拝命いたしました。露木美奈子先生が導いてくださった高等部をお引き受けするのは、身の引き縮まる思いです。コリントの信徒への手紙には、次のような言葉があります。「わたしは植え、アポロは水を注いだ。しかし、成長させてくださったのは神です。」

神様によって東洋英和に招かれた生徒たちは、育てられ、東洋英和を旅立っていきます。卒業式での答辞は、必ずと言っていいほど「六年間、私たちを見守ってください。神様に感謝します」という言葉で締めくくられています。彼女たちに蒔かれた敬神奉仕の種は、それぞれに備えられた場で立派に花開き、良き働きをしてくれることでしょう。育ちゆく苗木に智の水をたつぷりと注ぎ、のびのびと枝を伸ばせるよう、欠けたる器ではございませんが、祈りつつ、いただいた職務を全うしたいと存じます。



露木 美奈子

バトンをつないで

高等部長に就任した二〇一四年四月は、NHK連続テレビ小説「花子とアン」の放送が始まった時期でした。世に広く東洋英和の教育の何たるかを認知していただく好機となりました。思えば、理想を掲げながら信念をもって教育の業にあたってきたカートメル先生、ブラックモア先生をはじめとする、確固とした信仰と信念をもった先達たちがこの学び舎の歴史を積み上げてくださったお蔭です。

今この学び舎に学ぶ生徒たちの生き生きと伸びやかな様子を支えているのは毎朝の聖書の御言葉だと感じます。しっかりと根が伸びて、自我を支えつつ、そこから養分を吸収できるので思い切って飛躍することができるのでしょうか。今までの皆さまのお支えとご厚誼に感謝しつつ、バトンを次の方々へ託します。



小久保 康之

想定外を乗り越える力

昨年(二〇一六年)は、英国のEU離脱問題とトランプ米大統領の選出という多くの有識者にとって想定外の事態が起こり、その分析に国際政治学者の一人として私も追われていました。そこに追い打ちをかけるように、私が学部長に選出されました。これも全くの想定外でした。

一人ひとりの人生も世界の歴史も想定外の連続です。思う通りにならない人生や予想に反する動きを見せる社会の中で、自分を見失わないように生き抜いていく力を蓄えないといけません。新しい科学技術の登場やそれに伴う社会生活の変化を前向きに受け入れ、未知なる世界に飛び出す勇氣が必要です。大学の四年間の学びの中で、学生たちがそうした力強さを身に付け、少しでもより良い社会構築に貢献できる人材に成長できるように、さまざまな観点から大学および学部環境整備に尽力したいと思っております。



野村 正宣

〈私〉時代に抗して

昨年度高一現代文授業の最後に、宇野重規氏の「〈私〉時代のデモクラシー」という評論を読みまして、近代精神の行き着いた結果として「善くも悪くも」〈私〉が強調され、価値の源泉もまた〈私〉以外に認められないのでデモクラシーも難しくなっているという指摘です。そうした「〈私〉時代に、学校生活のなかにかに〈私たち〉を感じる経験を積み重ねていくのか自問しています。

中学の学校選びも、専ら〈私〉がどのような教育を受けられるのかという関心に終始している世相です。どのような〈私たち〉が中学部で展開され、〈私〉以外にどんな価値の源泉があるのかを、このような〈私〉時代に抗して伝えていくのは至難の業です。我利我利者ならぬ「私私亡者」が蔓延る現代にあって、預言的働きを念頭に置きつつ中学部教頭の職責に当たりたく存じます。

# 知の創造の現場より

## 大きなスクリーンを使つての授業実践

人間科学部人間科学科教授 柳沢 昌義

近年、学校の授業ではICT (Information and Communication Technology) が当たり前のように使われています。小学校でもプロジェクターに実物投影機を接続して投影したり、大きなディスプレイを使用して教材を提示しています。さらには電子黒板を活用したり、タブレットPCとの連携も必要とされてきています。

私はこのICT利用について、投影画面のサイズに疑問を持っていました。黒板にマグネットスクリーンを貼って投影しても、通常教室のモニターでもせいぜい五〇インチ程度しかありません。PC教室にあるスクリーンですら大きくても一〇〇インチ程度です。PCを操作するとき、教員はスクリーンから離れた端末で操作することが多いのですが、これが授業中の学生の視線に悪い影響を与えるとは私は考えてきました。ICTによって投影される教材が十分大きければ、教員は教材の前に立ち、教員もまたその教材の一部として授業を展開できるのではないのでしょうか。



そこで私は、大教室で使用する明るいプロジェクターをあえて通常サイズの教室で使用し、三〇〇インチの壁面大に投影する電子黒板システムを構築しました。過去五年間特別授業のときなどにこのシステムを使用して授業を行ってきましたが、二〇一六年度はある授業の全ての回をこのシステムで行いました。左の写真に授業の様子を示します。全体が電子黒板なので、教員がその都度操作のためにPCに戻ることはありません。このシステムでは、学生はスマートフォンで参加することができます。学生の発言がスクリーンに投影されるようになっていきます。教員は教材と一体となって授業を進めることができます。現時点ではまだ改良しなければならぬ点も多いですが、徐々に理想の環境に近づいてきました。今後、さらに学生が参加しやすい授業環境を研究中です。

大学・大学院

## 研究活動について

国際社会学部国際社会学科准教授

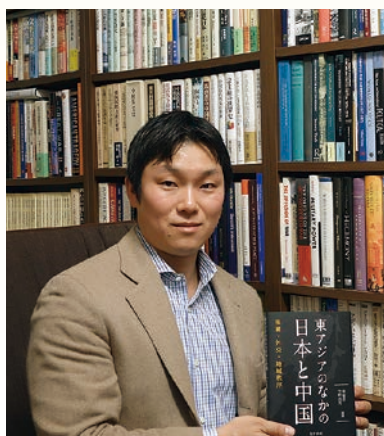
今野 茂充

大学の使命とは教育、研究、そして社会貢献です。そこに求められている「知の創造」の取り組みとして、大学教員による新しい教育、研究活動とともに、大学図書館の新たなチャレンジをご紹介します。

私の研究活動は大きく三つに分けることができます。第一は、国際政治事象を分析するための理論枠組を作ったり、既存の理論を修正したりする理論研究です。ここ数年、新しい理論の構築作業が停滞気味ですが、第一次世界大戦の開戦原因に関する本の翻訳が終わり次第、再び力を入れたいと考えています。

第二は、国際政治の理論と歴史の相互作用についての研究です。理論を使って、第一次世界大戦の勃発や近代日本の盛衰などの歴史事例の分析を行うほか、歴史研究の進展によって従来の通説が否定された場合に、過去の通説に依拠して構築された国際政治の理論にどのような影響がでるかという問題にも取り組んでいます。第一次世界大戦の事例については、最近、『国際安全保障学会の学会誌『国際安全保障』(二〇一七年三月号)』に論文を寄稿しました。

第三は、東アジアの国際関係に関する現状分析的な研究です。日本の国際政治学者として、中国台頭が日本や東アジア



に及ぼす影響には大きな関心を持ってきました。また二〇一三年から、日中両国の中堅・若手研究者と、大国間の力関係が変化する東アジアにおいて、日本と中国の規範状況がどのように変化してきたのかを分野横断的に比較検討する共同研究を進めてきました。

この共同研究の成果は、私も共編者として編集にかかわり昨年十二月に刊行した『東アジアのなかの日本と中国』(規格外・地域秩序) (晃洋書房、二〇一六年) にまとめました。私が担当した安全保障の分野では、日中間の相違が目立ち、残念ながら将来的にも樂觀視できない要素が多いのですが、開発援助や知的財産などの分野では意外に多くの共通点があることなど、今回の共同研究を通じて個人的にも多くの新しい発見がありました。

## 協働する「場」としての図書館

いま図書館に求められる役割とは？さまざま「場」としての図書館をご紹介します。

大学図書館司書 青山 史絵

星座観測、ピアノコンサート、香道、ヨガ体験等々、一見図書館とは馴染まないと思われる活動が、各地の図書館、それも所謂難関校と呼ばれる大学の附属図書館で盛んに行われています。学習・研究の基盤となる適切なコレクション構築、清閑で快適な学習の場といった従来の役割に加え、アクティブラーニングの場、主体的に学び考える学生を育てることへの積極的関与が求められ、図書館のあり方が変化していることの現れと言えます。

さて本学図書館ですがここ数年、社会的要請に応えることと併せて、一人でも多くの英和生の四年間にコミットできればと、学生協働、PBL(注)といった未踏の活動にささやかながら挑戦してきましたので少しご紹介させていただきます。

### 「やりたいことをみんなで作サポート」

図書館サポーターWELL(ウエル)は図書館や読書にまつわるイベントを企画・運営する、英和生と図書館職員からなる集まりで、現在メンバーは二三名(二月七日現在)。学年も学科も個性もさまざまです。

隔週で昼休みに開催しているミーティングでは「次は何をやってみよう？」が定番の議題で、二〇一六年度は職員の「オープンキャンパスの図書館見学者を増やしたい」という問いかけに対し、本学で撮影した映画やドラマを紹介すれば興味を持ってもらえるのではとの提案があり「本学が舞台の映画・ドラマのパネル展」を実現するに至りました。パネル展はオープンキャンパスとかえで祭(学園祭)で開催しましたが、立ち止まって見入られる方が多くとても好評でした。

空き時間に図書館へ足を運び、誰かがやりたいことを快くサポートしてくれるメンバーに支えられ、WELLの活動は昨年十二月で八年目を迎えました。メンバーは随時募集中です。ご興味のある方はぜひ図書館カウンターへいらしてください。

## 「みんなの図書館プロジェクト」

二〇一五年度PBL学内公募採択プログラムとして「英和生の目線から魅力ある図書館をデザインする」をテーマに、英和生十一名と図書館職員が協働して取り組みました。話題の図書館見学や、図書館有識者による講演会を開催し、図書館に対する新たな見識を習得した上で、四チームに分かれて図書館リデザイン案を作成、最終のプレゼンテーション大会では多くの教職員の前で発表しました。

限られた時間でチームビルディングからプレゼンまでを行うのは非常に大変そうでしたが、全員が英和の図書館を自分たち「みんなの図書館」として捉え、魅力ある図書館像を考え抜き、デパート図書館、英和文化の集結地・発信の拠点としての図書館など、自由でユニークな案を多数提供してくれました。



「みんなの図書館プロジェクト」プレゼン大会にて



「本学が舞台の映画・ドラマのパネル展」キャンパスマップ



授業「法学」との連携風景：新聞縮刷版を使った調べ学習

今年度はその中から実現しやすい、コモンセント使用可能スペースの拡大、図書館入口に情報掲示板「Library Tree」を設置しましたが、今後も可能な限り新しい意見も聴取しながら反映させていく必要があると考えています。

毎年四月頃に朝日新聞出版から発行される『大学ランキング』。その二〇一七年度の「大学図書館ランキング」において本学図書館は七六二校中総合三一位(女子大では五位)の評価をいただきました。資料の充実度を主軸としたランキングで、活動評価が少ないのが難ですが、図書館もコンテンツも人も活用されてこそ意味を持つのは当然です。みんなに役立つ図書館であるよう、今後も英和生や教職員の皆様と協働していければと思います。ご協力よろしく申し上げます。

# 中3総合学習 『みらいダイアログ』

中学部3年 学年主任 牧野 美穂子

二〇一六年三月、中3総合学習『みらいダイアログ』の企画は始まりました。毎年、中学3年生は、「社会とともに」のテーマのもと、職業研究を行ってきました。従来は、夏休み中に保護者を通じて探してきた職場訪問先に向いて仕事内容やその職業が社会にどのように貢献しているかをレポートし、九月に各自で組んだグループや個人で発表するというものでした。しかし、プログラム内容は年度により担任団の裁量で少しずつ異なり、これが東洋英和のキャリア教育であるというものが確立していませんでした。そこに、一人の若い卒業生、安井早紀さんより「後輩たちに、自分らしい将来の選択や生き方のヒントを見つけてほしい」という想いのもと自己理解と社会



第1回：OGの安井早紀さんと未来の社会と自分を想像してみました



第2回：私ってこんな人だったの？自分のトリセツを書いてみました



第5回：プレゼンの後は、「こんな職場だったら幸せ」なことを挙げました



第5回：職場訪問をしたOGからの熱いメッセージに働くことの楽しさと厳しさを学びました



プレゼン用に生徒たちが作った紙芝居。カルフルで目を引きます

で、このプログラムの成功が実感できました。保護者の方々からも好評をいただき、家庭で生徒が楽しかったようすを話していることがよくわかりました。

五月一九日の第一回「キックオフ」では、二〇三〇年の社会はどのようなものかを想像し自分はその中でどのように生きていくかをグループごとにディスカッションをしました。はじめは戸惑っていたようすでしたが、グローバル化が進んだ未来で自分の意志をしっかりと持って選択していくことが必要であることに気づいたようすです。六月十二日の第二回「自分に逢う」では、自分のトリセツを書いて、自分はどのようなときに幸せなのか、強みは何かを考え、また友達から見た自分を言ってもらうことで自分に自信が持て、前向きに人生を生きていく勇氣を得られたようでした。夏休み中の第三回「社会を知る①」では、実際に六人グループで、事前に希望を出したOGのもとへインタビューに行き、仕事のやりがいや、進路の選択でのアドバイス、人生を歩むために大切にしていることなどを伺

五月一九日の第一回「キックオフ」では、二〇三〇年の社会はどのようなものかを想像し自分はその中でどのように生きていくかをグループごとにディスカッションをしました。はじめは戸惑っていたようすでしたが、グローバル化が進んだ未来で自分の意志をしっかりと持って選択していくことが必要であることに気づいたようすです。六月十二日の第二回「自分に逢う」では、自分のトリセツを書いて、自分はどのようなときに幸せなのか、強みは何かを考え、また友達から見た自分を言ってもらうことで自分に自信が持て、前向きに人生を生きていく勇氣を得られたようでした。夏休み中の第三回「社会を知る①」では、実際に六人グループで、事前に希望を出したOGのもとへインタビューに行き、仕事のやりがいや、進路の選択でのアドバイス、人生を歩むために大切にしていることなどを伺

い、将来の自分をより具体的に考えられるようになりました。九月八日の第四回「社会を知る②」では、OGからインタビューしてきた内容をまとめ、プレゼンのための紙芝居を作成しました。九月三日の第五回「未来に逢う」では、異なるOGを訪問した六名を集めた新たなグループで自分のインタビュー内容をプレゼンしました。ほかのグループの訪問先のようにも共有することで、職業に対する視野を広げました。また、この回には協力してくださったOGにも参加していただき、アドバイスをしていたいただきました。先輩後輩が一堂に会して一つのプログラムを作り上げているようすは温かい空気が流れ、「東洋英和は一つのファミリーである」ということが実感できると同時に、その景色は正に圧巻でした。一〇月二三日の第六回「自分を深める」では、自分たちにさらに近い大学生のOGの進路選択時の経験談を撮影した動画を見て、一か月後に迫った来年度の科目選択登録を真剣に考えるきっかけになりました。最後に、今後のキャリアプランニングマップを描き、さらに将来の自分になりたい姿を言語化してこのプログラムのまとめとしました。

プログラム終了後にとった生徒のアンケート結果は、ほとんどの生徒が肯定的なもので、来年度の継続が決定しています。

『みらいダイアログ』は、前述の安井早紀さんをはじめ、東洋英和の卒業生の絆と奉仕精神により支えられて実現したプログラムです。感謝とともに、この先も連続と続いていくことを願っています。

# 小学部の球技会

～ Let's enjoy Sports ～

## 小学部での球技大会

二〇〇七年までの球技大会は、スポーツデーのようにほぼ一日を使って全学年が行っていましたが、授業時間数の確保・天気に左右されない・体育科教員がどの学年にも関われる、などの利点を備える「球技会週」という形に変え、授業数二コマを使用しての各学年単独開催をするようになりました。

球技会週の開催は、体育委員会や放送委員会の協力（開閉会式や結果発表と表彰式を担当）がなくては成り立ちません。また、当日の球技会には見守り、審判、保健室などの先生方が協力してくださるので、子どもたちは先生方に見守られ、安心して取り組みます。球技会の間は、仲間を励ましたり喜びを分かち合う姿があちらこちらで見られ、試合が終われば勝ち負けでうれし涙や悔し涙が流れます。毎年子どもたちの成長を感じ、胸が熱くなる瞬間です。

一年生のドッジボールは、運動の経験に大きく差がある子どもたちが一緒に行う初めてのボールゲームです。審判なしではゲームが進行せず、コートがわからない（コートの外に逃げていく子、相手コ

体育科 谷口 こゆき

トに飛び込んで投げる子続出)、当たったかどうかがわからない（興奮して気づかない子、バウンズボールが当たって勘違いする子続出）、勝ったかどうかかわからない、ボールを投げても届かない、取れない；など、ないない尽くしから始まります。

二年生になると、休み時間での遊びが反映され、お友だちと遊ぶ楽しさがわかってきます。だからこそ、投げて取れて当てられる子と、お友達の背中に逃げ込む子と、二極化するのもこの学年です。ここで大切にしているのは、投げる力と取る勇気を身につけていくことと、チーム一人ひとりの



青空の下でのポートボール



最後の球技会、バスケットボール楽しい！

特徴を受け入れて「協力」をすることです。三年生になると、身体的に投げる力や取る力がついてくるので、エネルギーッシュなドッジボールになってきます。三年生のテーマは「作戦」です。外野の配置、取った後の瞬時の判断（当てるかパスか）が大きくゲームを左右することを学びます。こうして、チームワークを理解するようになります。

四年生になると、ゴール型ゲームであるポートボールが始まります。同一のコートに敵と味方が対峙し、ボールを敵から奪いシュートを成功させると得点になるので、バスケットボールやサッカーへとつながる大事な種目です。そのために多くの技能と状況判断とチームワークが必要になります。すでに三年生でチームワークや各技能については学習しているので、三次元的な難しさはあっても、ルールを覚えればすぐに見える楽しいゲームです。また、ゴールが仲間なので、キャッチ力でカバーができてきます。

五、六年生のバスケットボールでは、固定されたゴールにシュートをする難しさが加わります。またシュートだけではなく、ディフェンスの楽しさがわかるのも、高学年の

特徴です。特に六年生の球技会では、選抜チーム対先生チームの試合が行われ、先生方のパスやドリブルをカットした瞬間に大きな歓声が上がります。

## 球技大会を通して 子どもたちに求められるもの

文部科学省から出されている体育の学習指導要領には、『体育を通して、体を動かすことが、身体能力を身に付けるとともに、情緒面や知的な発達を促し、集団的活動や身体表現などを通じてコミュニケーション能力を育成することや、筋道を立てて練習や作戦を考え、論理的思考力を育むことにも資する。』と記載されています。球技会を通して子どもたちは、基本的体力、予測判断能力の向上に加え、チームの形成を学んでいるといえます。

体育に求められる一つの大きなゴールが「生涯スポーツ」であるならば、学期期にある子どもたちには身体活動を好きになってもらい、基本的体力と怪我の防止にもつながるバランスのよい運動経験を身に付けさせなくてはなりません。つまり、将来何か興味のあるスポーツや身体活動に出会った時に、身体が自然に動くよう準備しておくことです。そのためには、普段から創意工夫（遊び、心）を持って、臨機応変に（仲間・場所・道具）よく遊んで（いろいろなことをして身体を動かす）ほしいと願っています。球技の持つ計り知れない魅力はそこにあるのかもしれない。

## 母と子の集い

五月末、入園して間もない年少の母子が幼稚園で安心して過ごせることを願い、「母と子の集い」を行っています。他の学年の先生も一緒に、親子を受け入れ、丁寧に関わる時となっています。

「ママ、今日は幼稚園で一緒に遊べるね。」朝、子どもたちはお母様と一日過ごせることを楽しみに登園してきました。挨拶の後、身支度を整えながら、リュックをかける場所、トイレの場所など、自分だけが知っていることをお母様に誇らしげに教えています。エプロンと砂場パンツを履くと、お母様の手を引っ張って、さっそく裏庭へと向かいます。

砂場でカップケーキをお母様にごちそうしたり、山や川を夢中になって作る親子の姿も見られます。スノコの上ではたくさん積み木を積み上げて、ままごとも始まり

ました。一方、いつもよりも人の多い庭に圧倒されて、お母様から離れた子どももいます。

この日は特別に、大きい組のいない表庭も占領して思いっきり遊びます。大きな三輪車に乗ったり、星の家（滑り台や登り棒がついている複合遊具）



一緒にお山作ろう



ママも手のスタンプ押して！

でおうちごっこも始まります。いちようの木の下では、色とりどりの絵の具を使って大きな紙で手ペタペタ。たくさん、色とりどりの手形が紙の上に現れました。庭で思いっきり遊んだあとは、親子でおやつのひとつです。さんびかを歌い、お祈りをしてからいただきます。子どもたちがとても楽しそうに歌うので、お母様方は驚いていました。

帰る支度を終えた後、子どもたちは他の学年の先生方と帰るまでの時間を過ごし、お母様方は担任との保護者会に参加しました。子どもと共に幼稚園で過ごしていたいた後に、保育のエピソードや、この一年大切にしていきたいことなどをお話することによって、お母様方に幼稚園を理解していただくきっかけになったのであれば幸いです。

## おかあさんだいすき

### —三歳児の母の日の集いより—

毎年五月、「母の日」を覚えて、私たちは神さまに感謝します。年長組・年中組は、大好きなお母様をくださった神さまを賛美する礼拝をまもり、その日の降園時にお迎えるにいらしたお母様にカード（手紙）を渡します。年少組では、母子で一緒に過ごすひと時をもちます。

二〇一六年度の様子からお伝えします。集いの中ではまず、子どもたちがお母様の膝の上に乗る、「くるまがびゅんびゅんはしってる」の歌遊びを楽しみました。歌に合わせてお母様がひざを揺らすと、子どもたちは「わあ！」と声をあげ嬉しそうに笑います。その様子にお母様からも笑みがこぼれ、お互いに顔を合わせます。右

や左に曲がったり、でこぼこ道を走ったり、体が揺れるたびに子どもたちは喜び、お母様とのドライブを楽しみました。その後、子どもたちからお母様に手作りのカードを贈りました。（この年はカードに、絵の具でス



おかあさんいつもありがとう



年少組の集いの様子

タンプを押しました。「ありがとう」「嬉しう」と喜ぶお母様に、子どもたちもにこにこ笑い「ここにいっぱいスタンプを押したんだ」「お家にかぎってね」などと言っていました。お母様方は、それぞれに子どもをぎゅつと抱き寄せていました。母子は互いに、とても幸せそうでした。最後に、幼児さんびか「おかあさんだいすき（キリスト教保育連盟）」を歌い、お母様をくださった神さまに感謝のお祈りをしました。

キリスト教保育の場として、親子の幸せな時を支えることを神さまに守られて、これからも大切にしていきたいと願います。

# 英和の日々

2016年12月~2017年3月

## 東洋英和幼稚園



卒業生の土肥江梨(中村梅)さんによる「藤娘」

- 年少アドヴェント終業礼拝  
12月15日(木)
  - 年中長アドヴェント終業礼拝  
12月16日(金)
  - 日舞を観る会  
2月6日(月)
  - 日本舞踊振興財団の方々がいらしてくださり、扇子遊び、お白粉、雅楽器などを自由に体験し、踊り「藤娘」を鑑賞しました。
  - 年長父と子の遠足  
2月11日(土)
  - 新幹線とバスで那須塩原ファミリーゲレンデへ出かけ父子でそり遊びやかまくらづくりを楽しみました。
  - 第103回保育証書授与式  
3月14日(火)
- 年長の子どもたち四七名が保育証書を受け取り、幼稚園から巣立っていきましました。

## 大学付属かえで幼稚園



お別れ会で

- クリスマス礼拝  
12月16日
  - 4歳児・5歳児  
20日・21日
  - 小学生・中高生  
22日
  - 年中組父親参加  
2月11日(土)
  - 年中組園外保育  
3月9日(木)
  - 早春の里山に出かけました。草木の芽吹きなどの春の訪れをたくさん見つけました。
  - 年長組お別れ会  
3月15日(水)
  - 保護者の方が心を込めて準備してくださり温かい時間を過ごしました。
  - 保育証書授与式  
3月16日(木)
- 四八名の子どもたちが皆さまの祝福の中、巣立っていきましました。

## 小 学 部



お話をされる鈴木実先生

- 小学部クリスマス礼拝  
12月19日(月)
- キリスト教講演会  
2月9日(木)
- 日本聾話学校の校長先生、鈴木実先生をお招きし、聾話学校に通う子どもたちのお話を伺いました。
- 親子討論会  
2月11日(土)
- 毎年恒例の六年生とお父様方との討論会です。六年生のたくましさを感じました。
- 東日本大震災を覚える礼拝  
3月10日(金)
- 被災地の小学校へ、ボランティアとしてけん玉を教えに行かれた鈴木康之先生のお話を伺い、皆で祈りを捧げました。
- 卒業式  
3月15日(水)
- 修業式  
3月16日(木)

## 中 高 部



高等部卒業式

- 中学部鑑賞行事  
12月7日(水)
- 日本舞踊が行われ、人間国宝の西川扇蔵氏による「七福神」などを鑑賞しました。
- クリスマス礼拝  
12月20日(火)
- 中学部は礼拝後に聖誕劇を演じ、高等部は関根和寛牧師(日本福音ルーテル東京教会)からお話を伺いました。
- 高等部卒業式  
3月17日(金)
- 社会科学習旅行(飛鳥・奈良・京都)  
3月21日(火)~24日(金)
- 中学3年生以上の有志参加で、日本の歴史が始まった地の旧跡・古寺めぐりました。

## 大 学・大 学 院



3月15日人間科学部主催シンポジウム

- 【大学】人間科学部主催シンポジウム「国の大切な資源である『ひと』の育成について考える」子どもがのびのびと育つ国・デンマークを例として」  
3月15日(水)
- 保育士や保育の研究者、子育て中の卒業生、デンマーク社会に興味をもつ人たちなど、多くの方々の関心を呼び参加者は百名を超えました。
- レシーションコンテスト  
3月20日(月祝)
- 今年は全国から七一名もの多数の女子高校生から応募がありました。
- 【大学院】修了式・修了パーティー  
3月18日(土)

横浜市スポーツ医科学センター  
理学療法士  
ゴールボール女子日本代表トレーナー

かとう えみ  
加藤 瑛美さん

2010年大学人間科学部  
人間福祉学科卒



## 出会いと経験

英和の大学卒業後、理学療法士養成校で学び、理学療法士として勤務する一方、パラリンピック種目であるゴールボール競技のトレーナーとしても活躍されている加藤さん。英和のテニス部で学んだことがどのように今に繋がっているか、2020年への目標とともに教えてくださいました。

### 大学四年間テニス部に

学生時代の思い出は何といってもテニス部です。英和のテニス部では十一人の同期を含むチームメイトとさまざまな局面を乗り越えました。チームの主軸選手とプレー以外の部分でチームを支える選手が、各々の役割をしっかりと果たしていました。中・高校時代はテニスクラブで練習し、団体戦より個人戦に比重をおいた競技生活でしたが、英和に入ってから一年目に団体で戦うリーグ戦を経験して団体戦の面白さやチームで戦うことの素晴らしさに触れました。澁谷先生の元で「One for all, all for one」を掲げて切磋琢磨する経験は非常に刺激的でした。トップレベルの選手が集まったチームではないので、チーム力を高めるためにもリーグ戦までの過程で一つ一つプロセスを踏むことを重視していました。同じ一つの目標に向かって突き進める仲間を手に入れ、その時間を仲間と共有できた大学生活は本当に宝物です。英和のテニス部は、ずっと英和familyという絆で結ばれています。

### 理学療法士

大学進学時から漠然とスポーツに関わるトレーナーという職に興味を持っていました。理学療法士を目指したきっかけは、大学時代に怪我を

して今の職場である「横浜市スポーツ医科学センター」に通ってリハビリテーションの奥深さに触れたことです。大学卒業後すぐに理学療法士養成校に入学し、その四年間は現職場にて理学療法助手として勤務し、卒業と同時に理学療法士として入職しました。職場の特徴として、ス

ポーツ選手を見ることは多くありましたが、障がい者スポーツへの関わりはほぼありませんでした。ところが、入職二年目に思いがけずゴールボール女子日本代表チームのトレーナーの話が舞い込んできました。ゴールボールでパラリンピックの舞台へ

ゴールボールというのはパラリンピック種目の一つです。視覚障がいをもった選手が全員アイシェード（目隠し）をして鈴の入ったゴム製のボールを用いて三対三の対戦方式で行うスポーツです。コートはバレーボールと同じ大きさ、ボールは一・二五キログラムで大きさはバスケットボール同等です。そのボール



リオパラリンピック最終予選大会にて：動画を確認しながら打合せ



リオパラリンピック最終予選大会優勝後のミーティングにて

を転がし相手選手三人の後方にあるゴールに入れて点数を競います。

代表チームに関わり二ヶ月後にはリオパラリンピックの最終予選でした。急遽リオパラ最終予選に私も帯同させていただき、暗中模索のチームスタッフとして選手の生活介助を行ったり、トレーナーとしてコングレッシング管理やケアやスケジューリングを行いました。「百聞は一見に如かず」とはまさにこのことです。それまで二回しか会ったことがなくても、大会期間約一〇日と一緒に過ごしただけで山ほど得るものがありました。不慣れた生活介助も日々慣れ、競技以外の部分でも吸収すべきことが沢山ありました。思い返すと、この経験はリオパラを迎えるまでに欠かせませんでした。チーム内でのトレーナーとしての関わりは、選手の生活介助、トレーニングやコングレッシング管理、タイムマネージメントといった細部に至ります。これらは選手やヘッドコーチ、他職種の方々と連携をとる

必要があります。英和で経験したチームの中でそれぞれが役割を果たしていたことがここで活かしています。チーム内の状況を理解し、同時に自分の立場・役割を確立し、全員が同じ一つの目標に向かって取り組むことはどこのチームでも大切なことです。

### 二〇二〇年に向けて

健常スポーツにはないゴールボール競技において、パフォーマンス向上やケガ予防にはどのような身体機能が関わるのか等、わからないことが多々あります。課題を一つ一つクリアして、強いチームにしていこうとが今の一番の目標です。英和のテニスで学んだように、結果までのプロセスが大切です。ゴールボール競技においても、その点を共有して強いチームになっていきたいです。二〇二〇年には是非パラリンピックにも目を向けていただき、ゴールボールの応援をよろしく願います！

■かとう えみ／横浜市スポーツ医科学センターに理学療法士として勤務。北海道出身、2006年東洋英和女学院大学に入学し、硬式庭球部へ入部。大学卒業後はスポーツに関わる理学療法士を目指し、養成校の夜間部へ進学。養成校に通う4年間、現職場にて理学療法助手として知識と技術を習得。現在は医療機関である同センターに勤務しながら、現場活動の一つとしてパラリンピック種目であるゴールボール競技にトレーナーとして携わる。

# 聖書の言葉

「御父がどれほどわたしたちを愛してくださるか、考えなさい。それは、わたしたちが神の子と呼ばれるほどで、事実また、そのとおりです。」

ヨハネの手紙一 三章一節

通り道に咲いている小さなすみれ。気をつけていてもなぜか踏んでしまう。それでもめげずに、いつも小さな花を咲かせている。

神さまに愛されている私。なぜかすぐに折れてしまう。どうすればめげずに咲いていることができるのだろうか。

「イエスが現れ、その不信仰とかたくな心をおとがめになった」(マルコによる福音書一六章一四節)。そうだ。心が固いから折れるんだ。やわらかくすればいいんだ。やわらかければ、折れない。きっと。

愛されていることを忘れないように、神さまからのメッセージをいつも聴いて、心を耕したいと思う。「神の子」と呼ばれるほどに、そう、イエスさまを愛されているのと同じくらい、神さまは私を愛してくださっているのだから。

日本基督教団鳥居坂教会牧師  
東洋英和女学院評議員

野村 稔



中高部メモリアル・チャペル

## 訃報

—心より哀悼の意を表します—

赤羽 忠之氏  
佐々木みよ子氏

大学名誉教授、元大学教授  
元短期大学教授等

二〇一七年二月二六日  
二〇一七年四月一四日

## 学院 NEWS

### 「キリスト教教育懇談会」が開催されました

二月一七日(金) 中高部を会場として、教会と学校との「キリスト教教育懇談会」が開催されました。二七回目となる今回は、園児・児童・生徒たちが通う教会から五〇名を超える牧師先生・教会学校の先生をお迎えし、学院からは幼稚園から中高部までの教員約五〇名が出席しました。

はじめに新マーガレット・クレイグ記念講堂で全体会が行われ、合唱部とハンドベル部による演奏、開会礼拝の後、教会学校について感想を述べる生徒たちの様子(事前に録画されたもの)が上映されました。その後幼稚園から高等部まで七つの分団に分かれて意見・情報交換をし、教会との連携を深める機会を持ちました。



生徒の思いをお伝えしました



貴重な意見・情報交換の場となった分団



## 史料室レター

No.22

### 「ミス・ブラックモア」の展示をしています

今回の企画展は「宣教師と村岡花子シリーズ」の第二弾として、ミス・ブラックモアをとりあげ、多岐にわたるブラックモアの功績とその生涯を紹介しています。

一八八九年から一九二五年まで、カナダ・メソジスト教会婦人ミッションの宣教師として日本に赴任したブラックモアは、三〇年以上にわたるキリスト教の伝道、教育活動、社会事業にその生涯を捧げました。在学中にその教えを受けた村岡花子は、ブラックモアを評して「もっとも深い感化を受けたと思う人の一人」と語っています。お近くにお越しの際はどうぞご覧ください。



「宣教師と村岡花子② ミス・ブラックモア」展示のようす【～9月22日(金)まで】

史料室連絡先 ● TEL : 03-3583-3166 FAX : 03-3583-3329  
E-mail : archive@toyoeiwa.ac.jp

# 2017年度 行事予定

## 小学部

4月	7日(金) 始業式 11日(火) 入学式 17日(月)・20日(木)・26日(水)・5月12日(金) 春の健康診断 19日(水) イースター礼拝
5月	2日(火) 春の遠足 10日(水) 授業参観日 13日(土) 学校説明会① 27日(土) 運動会
6月	7日(水) ペンテコステ礼拝 15日(木) 学校説明会② 20日(火) 鑑賞の日 28日(水) オープンスクール
7月	1日(土) 土曜参観日 夏期学校(軽井沢追分) 15日(土)～17日(月・祝) 1年1組 17日(月・祝)～19日(水) 1年2組 19日(水)～21日(金) 2年1組、6年1組 21日(金)～23日(日) 2年2組、6年2組 24日(月)～26日(水) 3年生 26日(水)～28日(金) 4年生 28日(金)～31日(月) 5年生
9月	4日(月) 始業礼拝 7日(木)、9日(土) 入試説明会 8日(金) コース別集団下校訓練 19日(火)～22日(金) 6年修学旅行 29日(金) 秋の遠足(1～5年)
10月	1日(日) 追悼記念日礼拝 2日(月)～4日(水) 球技会週 6日(金) 前期終業式 10日(火) 後期始業式 12日(木) 秋の健康診断
11月	2日(木) 入学考査 6日(月) 学院創立記念日礼拝
12月	1日(金) 学芸会 4日(月) アドヴェントを迎える会 16日(土) むかえようクリスマス 19日(火) クリスマス礼拝
1月	9日(火) 始業礼拝 26日(金) マグノリアコンサート
2月	9日(金)、10日(土) 美術展 親子討論会 15日(木) 授業参観日 20日(火)～23日(金) クラブ発表週
3月	14日(水) 卒業式 15日(木) 修業式 * Ewha訪問の旅

## 東洋英和幼稚園

4月	10日(月) 始業礼拝 13日(木) 入園式 * 春の健康診断 29日(土・祝) 父母の会
5月	25日(木) 母と子の遠足(年中・長) 26日(金) 母と子の集い(年少)
6月	15日(木) 歯みがき指導
7月	5日(水)～7日(金) キャンプ(年長)(軽井沢追分) 12日(水) 終業礼拝 15日(土) 入園説明会① 17日(月・祝) 入園説明会②
9月	6日(水) 始業礼拝 29日(金) 祖父母の会 * 父と遊ぶ日
10月	1日(日) 追悼記念日礼拝 24日(火)～27日(金) 入園考査 * 秋の健康診断
11月	6日(月) 学院創立記念日礼拝 10日(金) りんご園遠足(年長) 〔長野県上田市〕
12月	6日(水) 母の会アドヴェント礼拝 14日(木) アドヴェント終業礼拝(年少) 15日(金) アドヴェント終業礼拝(年中・長)
1月	10日(水) 始業礼拝
2月	6日(火) 日本舞踊を観る会 10日(土) 父と子の遠足(年長) 17日(土) ホームカミング 28日(水) 課外日舞おさらい会
3月	5日(月) 課外ピアノ科おさらい会 * お別れ会 12日(月) 終業礼拝 13日(火) 卒業式

## 大学付属 かえで幼稚園

4月	6日(木) 始業礼拝(進級児) 7日(金) 新入園児始業 11日(火) 入園式 20日(木) 園外保育(4歳児) 29日(土・祝) ワークI
5月	8日(月) 母の日礼拝 11日(木) 園外保育(5歳児) 健康診断 25日(木) 園外保育(3歳児)
6月	10日(土) ワークII 15日(木) 歯科健診 19日(月)、26日(月) 親と子の集い(4歳児)
7月	18日(火) 終業礼拝(4、5歳児) たのしみ会(3歳児) 19日(水) 夕涼み会(4、5歳児)
8月	24日(木)～29日(火) 夏期保育 30日(水)～9月1日(金) 軽井沢追分キャンプ(5歳児)
9月	7日(木) 始業礼拝(3、4、5歳児) 9月入園式(3歳児) 23日(土・祝) 入園説明会①
10月	1日(日) 追悼記念日礼拝 2日(月) 園外保育(5歳児) 18日(水) 入園説明会② 21日(土) ファミリーデー(4、5歳児) 〔大学校地〕 23日(月) オープンデー(3歳児) 25日(水) 芋ほり(4、5歳児)
11月	1日(水) 入園願書受付 6日(月) 学院創立記念日礼拝・音楽会 11日(土) ワークIII 27日(月) アドヴェント礼拝I
12月	4日(月) アドヴェント礼拝II 11日(月) アドヴェント礼拝III 19日(火) クリスマス礼拝(3歳児) 20日(水)、21日(木) クリスマス礼拝(4、5歳児) 22日(金) 小学生・中高生クリスマス礼拝
1月	10日(水) 始業礼拝(3、4、5歳児) * 教会訪問(5歳児)
2月	10日(土) 父親保育参加(4歳児) * 小学校訪問(5歳児)
3月	1日(木) 卒業遠足(5歳児) 8日(木) 園外保育(4歳児) 15日(木) 終業礼拝(3、4歳児) お別れ会 16日(金) 卒業式

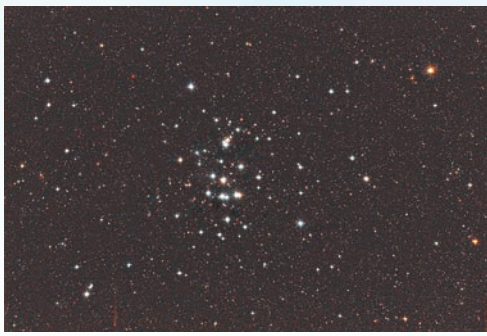
\*印は日程が未定

大学院	
4月	1日(土) 入学式・オリエンテーション 22日(土) 健康診断
5月	27日(土) 入試説明・相談会
7月	1日(土) 休講 人間科学領域・幼児教育コース・ 国際協力研究科修士課程 2017年度後期入試 8日(土) 入試説明・相談会
9月	2日(土) 臨床心理学領域修士課程 2018年度前期(秋季)一次入試 国際協力研究科修士課程 2018年度前期(秋季)入試 2017年度後期科目等履修生・ プログラム履修生試験 9日(土) 臨床心理学領域修士課程 2018年度前期(秋季)二次入試 16日(土) 学位授与式/ 入学式・オリエンテーション
10月	1日(日) 追悼記念日礼拝 21日(土) 入試説明・相談会
11月	6日(月) 学院創立記念日 25日(土) 入試説明・相談会
2月	3日(土) 人間科学領域・幼児教育コース 修士課程 2018年度前期(春季)入試 臨床心理学領域修士課程・ 人間科学博士後期課程 10日(土) 2018年度前期(春季)一次入試 臨床心理学領域修士課程・ 人間科学博士後期課程 2018年度前期(春季)二次入試 国際協力研究科 2018年度前期(春季)入試 24日(土) 2018年度前期科目等履修生・ プログラム履修生試験
3月	17日(土) 学位授与式

大学	
4月	1日(土) 入学式 3日(月)~6日(木) 学内オリエンテーション 22日(土) プレイデー
5月	19日(金)~20日(土) 1年生オリエンテーション合宿 〔千葉県南房総市富浦〕
6月	10日(土) 東京女子大学スポーツ交流会 18日(日) オープンキャンパス
7月	16日(日) オープンキャンパス 29日(土) 入試対策講座
8月	13日(日) オープンキャンパス 27日(日) オープンキャンパス
9月	17日(日) 入試対策講座
10月	1日(日) 追悼記念日礼拝 22日(日) 公募制推薦入試 同窓生子女枠特別推薦入試 一般・社会人編入試、社会人入試
11月	2日(木)、3日(金・祝) かえで祭(進学相談会) 6日(月) 学院創立記念日 11日(土) 指定校推薦・院内推薦入試(1期) * チャペルコンサート 19日(日) 入試対策講座 29日(水) アドヴェント点灯式
12月	* 清楓会クリスマスパーティー 16日(土) スカラシップ特別入試 19日(火) クリスマス礼拝
1月	6日(土) 院内推薦入試(2期) 外国人留学生入試 13日(土)、14日(日) 大学入試センター試験 31日(水) 一般入試
2月	22日(木) 一般入試(後期)
3月	2日(金) 卒業チャペル・コンサート 9日(金) 卒業式 18日(日) オープンキャンパス(春キャン)

中高部	
4月	7日(金) 中学部入学式 10日(月) 中学部始業式 高等部入学式・始業式 21日(金) 健康診断(全学年) 22日(土) 授業公開日・母の会総会
5月	8日(月)~10日(水) 高3修養会(天城) 中1オリエンテーション(清里) 10日(水) 中2~高2学年行事 15日(月)~19日(金) 高2修学旅行(九州)
6月	5日(月)~8日(木) I学期中間試験 8日(木) 中学部鑑賞行事、花の日礼拝・訪問 22日(木)、23日(金) 高1カンファレンス(御殿場) 30日(金) 合唱コンクール(中学部) 球技会(高等部)
7月	1日(土) オープンスクール 15日(土)~17日(月・祝) オープニングキャンプ(野尻) 18日(火)~8月3日(木) カナダ語学研修 21日(金)~28日(金) 中2夏期学校前後期(野尻) 28日(金)~31日(月) 訓練キャンプ(野尻) 31日(月)~8月5日(土) キャンプ(野尻)
8月	1日(火)~3日(木) 夏期修養会(軽井沢追分)
9月	9日(土) 学校説明会 20日(水)~26日(火) I学期期末試験
10月	1日(日) 追悼記念日礼拝 4日(水) II学期始業礼拝 7日(土) 体育祭 20日(金)、21日(土) 楓祭
11月	6日(月) 学院創立記念日 7日(火)~13日(月) 授業公開週間・美術展 11日(土) 学校説明会 22日(水) 球技会(中学部) 25日(土) 入試問題説明会
12月	1日(金)~7日(木) II学期中間試験/高3期末試験 7日(木) 中学部鑑賞行事 9日(土) クリスマス音楽会 20日(水) クリスマス礼拝 26日(火) ミニ学校説明会
2月	1日(木) 一般入試(A日程)・帰国生入試 3日(土) 一般入試(B日程) 28日(水)~3月6日(火) II学期期末試験
3月	8日(木)、9日(金) 英和茶会 14日(水) 中学部卒業式・修業式 高等部卒業式 15日(木) 高等部卒業礼拝 16日(金) 高等部卒業式 19日(月)~22日(木) スキー教室(志賀高原) 20日(火)~23日(金) 社会科学習旅行(京都・奈良) 20日(火)~4月3日(火) アメリカ語学研修

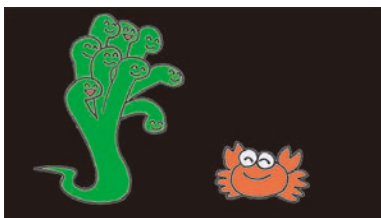
全学院			
4月	1日(土) 新任者辞令交付式 14日(金) 全学院新年度礼拝・歓迎会	11月	6日(月) 学院創立記念日 永年勤続者表彰 7日(火) カナダ宣教師墓前礼拝 23日(水・祝) 楓の会秋の芸術公演
6月	2日(金) 後援会・母の会・学院三者懇談会	12月	8日(金) 全学院クリスマス礼拝
7月	7日(金) 後援会常任役員会/役員会/総会 15日(土) 三英和懇談会〔於:山梨英和学院〕	3月	2日(金) 後援会・母の会・学院三者懇談会 23日(金) 退職者辞令交付式・送別会
10月	1日(日) 追悼記念日礼拝 13日(金) 後援会役員懇談会		



M44 プレセペ星団  
撮影 北崎勝彦  
2017年2月25日 長野県東御市にて



神話にちなんだ星と星団の名前がつけられています



アミモーンの沼に住む仲間同士のヒドラとカルキノス

## かに座

夜空の暗い場所に行くとしし座の一等星レグルスの西隣、春の星座の中でも一番西寄りに小さな雲のような、煙のようなものがぼんやりと見えます。昔の中国では「死んだ人の魂が集まっている場所」といわれていました。しかし、あの有名なガリレオが四〇〇年前ほど前に夜空に望遠鏡を向けて、これが星の集まりであることを発見しました。

この星の集まりはプレセペ星団と呼ばれ、かに座の中心に位置しています。プレセペの意味は「飼いの葉桶」。ギリシャ神話によりますと、具合が悪くなったしまった酒の神バックスを、父親であるゼウスの元へ送り届けた二頭のロバ。このロバたちに感謝したゼウスは飼いの葉桶にエサをいっぱい入れて二頭を一緒に夜空に上げたそうです。プレセペ星団の脇にある二つの星には、アセルス・ボレアリス（北のロバ）、アセルス・アウストラリス（南のロバ）という名前がつけられています。

また、かに座の神話にはアミモーンの沼に住む石臼ほどの大かにカルキノスの首を持つヒドラがヘルクレスと戦い、やつつけられているのを見てなんとか助けようと沼から這い出して来て、ヘルクレスの足に大きなはさみでつかみかかりました。しかしヘルクレスはこれをさつとよけると、カルキノスを踏みつぶしてしまいました。活躍することはありませんでしたが、この仲間想いのカニは空に上げられ星座になったそうです。

かに座は、いちばん明るいβ星でも三・五等星。他は四等星以下で、明るい街中からでは見つけることはできません。街明かりの少ないところで見つけてみてください。プレセペ星団を取り囲む四つの星の並びがカニの甲羅の部分。そう思ってみると、プレセペ星団は心優しいカニのハートに見えてくるような気がします。

## お知らせ

### 楓の会 秋の芸術公演のご案内 「音楽のさんぽ道コンサート」

日時：2017年11月23日（木・祝）14時～16時  
場所：中高部 新マーガレット・クレイグ記念講堂  
料金：無料  
共催：東洋英和楓の会、  
（公財）港区スポーツふれあい文化健康財団



今回のイベントは、公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団との共催で、東洋英和女学院高等部の卒業生を中心とした音大生を招いたコンサートを開催いたします。申込方法など、詳細内容は次号以降でお知らせいたします。



### 東洋英和女学院 学院報 楓園 第83号

発行日：2017年5月15日  
編集：広報委員会  
発行：学校法人 東洋英和女学院  
東京都港区六本木 5-14-40 Tel：03-3583-3325  
メールアドレス：koho@toyoeiwa.ac.jp  
ホームページ：http://www.toyoeiwa.ac.jp

## 同窓会より

### ● 新入会員のご紹介

東光会（高等部同窓会）182名／楓美会（大学同窓会）546名／大学院同窓会36名の方々が新たに加えられます。ご入会を心より歓迎いたします。

### ● 同窓会総会のご案内

卒業証書と共に伝統の一輪の黄水仙を持って巣立られた上記の方々を加え同窓会はますます大きくなりました。「敬神奉仕」の根をしっかりと張りめぐらせた大きな樹です。

今年の総会は初めに本大学院で学ばれ博士号を取得された河村從彦牧師により礼拝を守ります。そして議事に移った後、学院史料室の酒井ふみよ氏により映像も交えた講演で英和の越し方を振り返り、明日へと絆をつなげて参りたいと願います。母校へと想いをお寄せくださってひとりでも多くの方々のご参加をお待ちしております。

### 同窓会総会実施要領

東洋英和女学院同窓会総会	日時	2017年6月3日（土）13：10より	
	会場	新マーガレット・クレイグ記念講堂（六本木本校地）	
	礼拝	説教 河村從彦牧師（2016年3月東洋英和女学院大学大学院博士号取得）	
	総会議事	前年度活動報告・決算報告・監査報告 今年度活動予定・予算案・新役員人事承認 他	
	催事	酒井ふみよ氏（高等部1970年卒）（史料室） 講演「英和写真館 -英和生のおしゃれと学校生活から」	
お茶の会：ミニバザー（15時45分終了予定）			
各同窓会総会	保育部会（短期大学保育科）	10：30	中高部集会室
	楓美会（大学）	11：00	本部・大学院棟 大会議室（A）
	楓雅会（短期大学国際教養科）	11：00	本部・大学院棟 大会議室（B）
	大学院同窓会	11：30	本部・大学院棟 第2会議室
東光会（高等部）	12：10	中高部小講堂	

（かえで会総会はありませんが、学院同窓会総会にご出席ください）